



## 1人1台タブレット(PC)端末の有効活用に向けて!

校長 加藤 隆史

「なんとか担任の先生や学級の様子を見ていただけでよかった!」

これが授業参観終了後の正直な思いでした。全国及び県内での新型コロナウイルス感染症の拡大により、急遽、参観の制限を厳しくさせていただきました。そんな中でしたが、保護者の皆様のご理解とご協力により、落ち着いた雰囲気の中、普段通りの姿を見ていただけたと思います。各ご家庭一名のみの参観というかたちをとらせていただきましたので、授業でのお子様のがんばっていた姿をぜひご家庭での話題にしていいただければ幸いです。

さて、瑞浪市では昨年度末には、GIGAスクール構想によりタブレット(端末)の配備や校内のWifiや大型提示装置(プロジェクター)等の環境整備が整えられました。そこで、今年度より土岐小学校でも1年生から6年生までの全児童にタブレットが配備されます。配備されるタブレット端末は「Chromebook」というものです(下の写真をご参照ください)。

このタブレットは、インターネットで調べ学習に活用するだけではなく、この中にある「まなびポケット」では、カメラでの撮影や画像や動画の提示はもちろん、先生から児童一人一人のタブレットに課題を提示し、児童が課題をタブレット使って先生に提出したり、タブレットで先生同士、先生と児童同士がやりとりをしたりすることができます。また各学年のドリル的な問題も入っており、個に応じて自分に合った問題を進めていくもできます。こうした機能を活用することにより、日常の授業はもちろんのこと、非常時(臨時休校など)における「自宅学習」がより一層充実したものになっていくことが期待されます。

しかし、まだまだスタートしたばかりで、私も含めて職員も十分に使いこなせていないのが正直なところです。せっかく整備をしていただいた1人1台タブレットを効果的に活用するために、5月は「タブレット0(ゼロ)段階」として以下のような取組を学校全体で進めていきます。

### 【まず① 職員の研修】

「子どもの方が堪能だから」と、子どもたちに任せっきりにせず、私たち職員がこの教育環境を理解し、使いこなせるようになることが必要です。学校生活が軌道に乗ってきた5月からタブレット端末の職員研修を行い知識とスキルをきちんと身に付けていきます。

### 【次に② 児童が慣れるための時間の設定】

もうすでに授業の中で扱っている学級もありますが、職員が知識とスキルを身に付け、利用の約束を確認した上で「学びの主役」である児童がどの学級でも使う時間を設定します。また、学年の発達段階に応じたタブレットの使い方も考えて少しずつ教科の中で活用し、職員間で情報交流をしていきます。



こうしたキーボード付きのタブレットを使います!